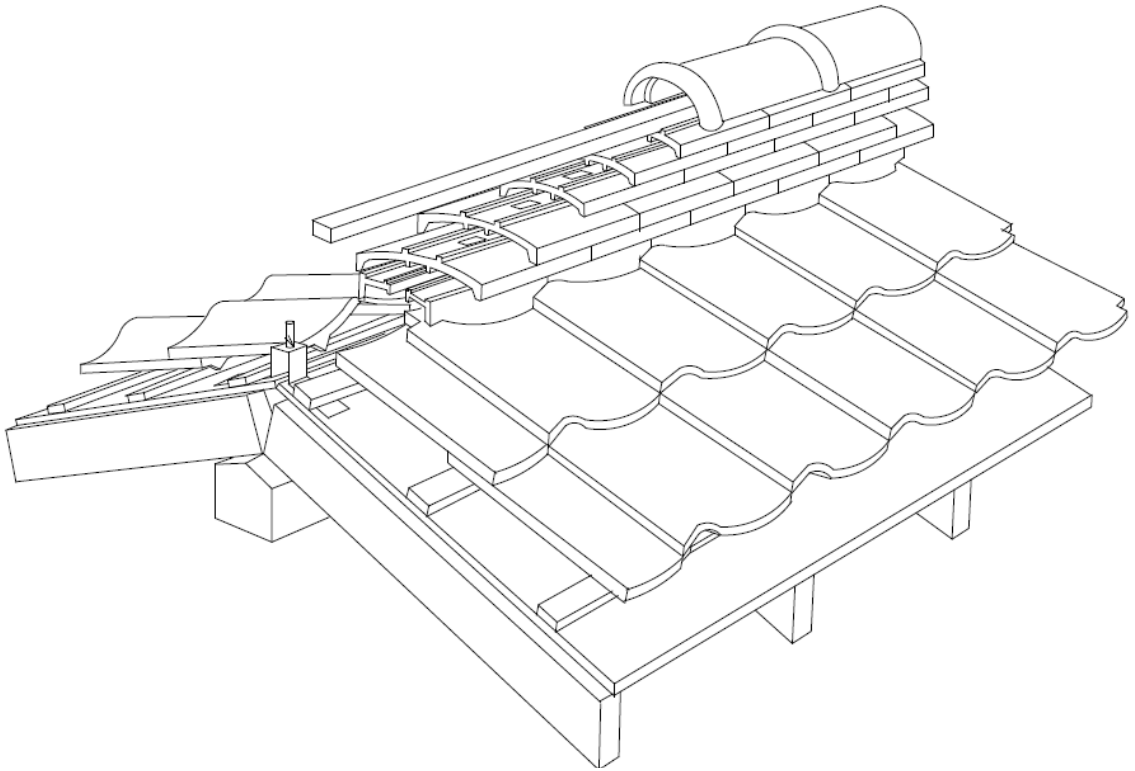


石州丸惣耐震棟工法施工手順





①棟補強金具の取り付け

棟補強金具を825mmピッチで取り付け、棧木で押さえ込む。

鬼際は瓦一枚分置いて割付を始める。

(写真は回転試験のため、実際と異なります。)



②ボルトの設置

M10のボルト(ステンレス)を設置する。



③棟際まで棧瓦を葺く

棟際の瓦は必ず固定する。

また、棟際の瓦の下にも、なんばんを置く。



④面戸の取り付け

なんばんを置き、面戸瓦を葺く。
幅180mmを目安とし、通りを確認する。



⑤両サイドの面戸を番線で固定し、
7分のしの安定と通りをよくするため、
その上になじみ用のなんばん
を置く。



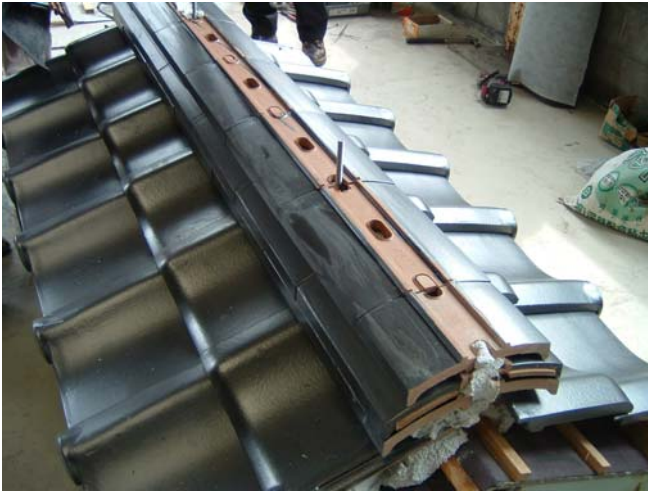
⑥7分のしの取り付け

ボルトと干渉する部分の両端部分
はカットし、通りに注意して取り付け
る。



⑦2段目ののし瓦取り付け

次ののし瓦の安定のため、なんばんを置きリブ同士のかみ合わせに気をつけ、2段目ののし瓦を葺いていく。



⑧のし瓦の積み上げ

2段目の要領でのし瓦を積み上げていく。
ボルトとの干渉、通り、ねじれに注意する。



⑨棟垂木の取り付け

棟垂木20 * 40にボルトが通るように825mmピッチで穴を開ける。但し、ボルト間のピッチは必ず確認する。穴の径はボルト10mmの場合12mmの穴を開ける。



⑩ナットの締め付け
座金をいれ、ナットを締める。
余ったボルトは切断する。



⑪棟垂木を包むようになんば
んを置く。



⑫5寸紐丸瓦の取り付け
5寸紐丸瓦を棟垂木にパッキン付
ビス50mmで取り付ける。
余った穴はシリコンでふさぐ。